



EIZO®

第6次中期経営計画

2018～2020年度

Synergy Transformation

～ 成長エンジンの創出 ～

EIZO株式会社

証券コード:6737

2018年5月16日

注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載は、為替変動、需要変動、開発・生産能力及びその他のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2021年3月期は“20F”となります。

市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
Business & Plus (B&P)	<ul style="list-style-type: none">● 金融機関● 公共機関● 文教施設● 一般オフィス● ハイエンド・ホームユース
ヘルスケア (HC)	<ul style="list-style-type: none">● 医用画像● 診断用途● 手術室用途
クリエイティブワーク (CW) グラフィックス用途向け	<ul style="list-style-type: none">● 出版・印刷・写真編集● 映像制作
Vertical & Specific (V&S) 様々な環境下で使用可能な多様な業種・分野向け	<ul style="list-style-type: none">● 航空管制● 船舶● 監視● その他産業分野
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

目次

1. 第5次中期経営計画～レビュー
(2015年度～2017年度)
2. 第6次中期経営計画
(2018年度～2020年度)
3. 重点市場別事業戦略
4. 株主還元方針

目次

1. 第5次中期経営計画～レビュー
(2015年度～2017年度)
2. 第6次中期経営計画
(2018年度～2020年度)
3. 重点市場別事業戦略
4. 株主還元方針

第5次中期経営計画～レビュー

□ 3期連続増収増益、業績目標達成

17F実績

売上高 840億円（計画比 +10億円）

営業利益 85億円（同 + 2億円）

営業利益率 10.2%（同 + 0.2pt）

第5次中期経営計画～レビュー

中期経営目標 “10/15/150”

	目標	実績
営業利益率	10%	10.2%
AMU 売上高比率	15%以下	18%
HC・CW・V&S 売上高 14F比	+150億円	+105億円

第5次中期経営計画～レビュー

□ HC、CW、V&S: 収益の拡大

■ HC

■ 領域拡大 M&A/シナジー効果を創出

2015年 11月 HCシステムインテグレーション事業

2016年 7月 手術・内視鏡用モニター事業

■ 既存ビジネスの成長 重点市場及び戦略市場ともに販売拡大

■ CW

■ 映像制作向け販売拡大、ハリウッドから全世界へと展開

第5次中期経営計画～レビュー

□HC、CW、V&S:収益の拡大

■V&S

- 航空管制市場シェア拡大、監視/船舶向け販売は増加したが、計画未達

□AMU:市場におけるNo.1ポジション維持

- パートナーとの連携強化と市場環境変化に対応
 - 構造改革による開発効率向上と機動的な開発力
 - EIZOの調達力・供給力を活かしたオペレーション

第5次中期経営計画～レビュー

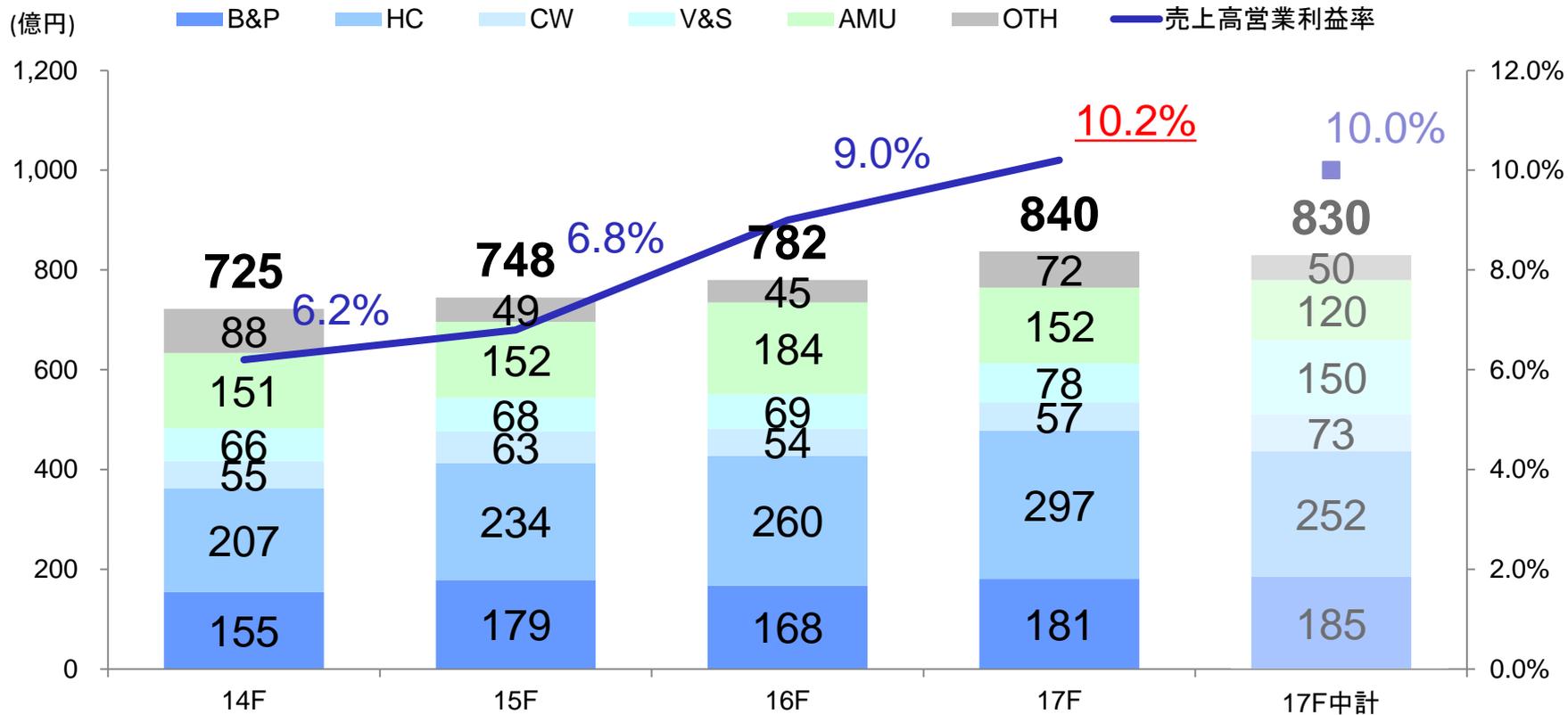
□収益性向上の取り組み

- 高付加価値製品の売上比率を拡大

HC/CW/V&S売上高構成比 17F 52% (14F比 +7pt)

- 新工場・新生産ラインで大幅な生産効率向上を実現
- Work Style Innovation 働き方改革・生産性向上

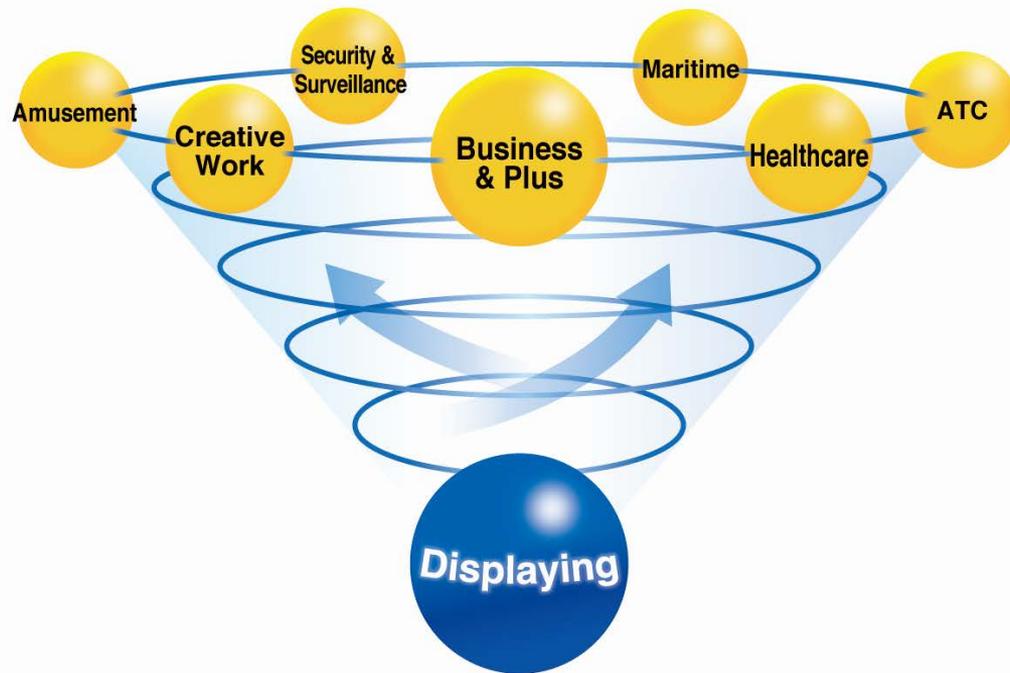
第5次中期経営計画～レビュー



目次

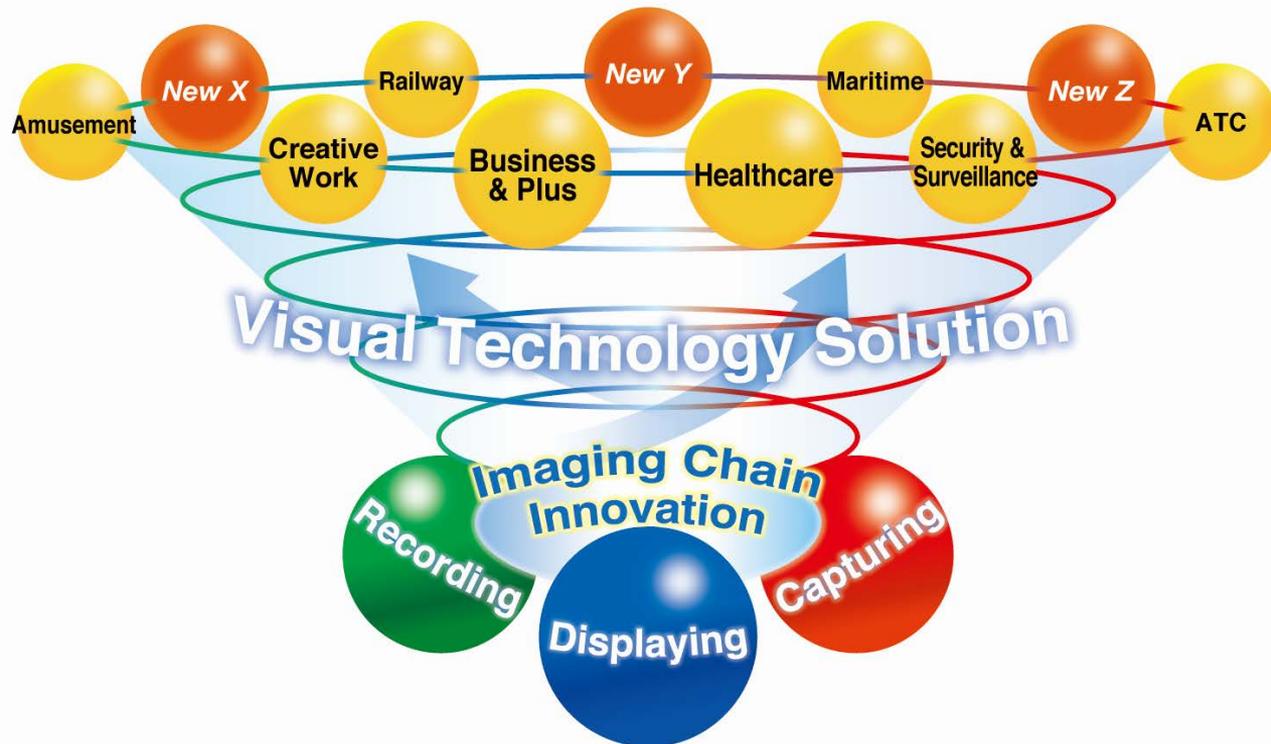
1. 第5次中期経営計画～レビュー
(2015年度～2017年度)
- 2. 第6次中期経営計画
(2018年度～2020年度)**
3. 重点市場別事業戦略
4. 株主還元方針

これまでのビジネスモデル



表示技術を核に Visual Technology Companyとして、世界トップレベルの
高品質・高信頼性の商品開発とモニターソリューションの提案活動により
事業領域を拡大

これからのビジネスモデル



映像の「撮影」、「記録」、「配信」、「表示」を包括したトータルソリューションで
HC、CW、V&Sの事業領域を更に拡大、新市場を創出

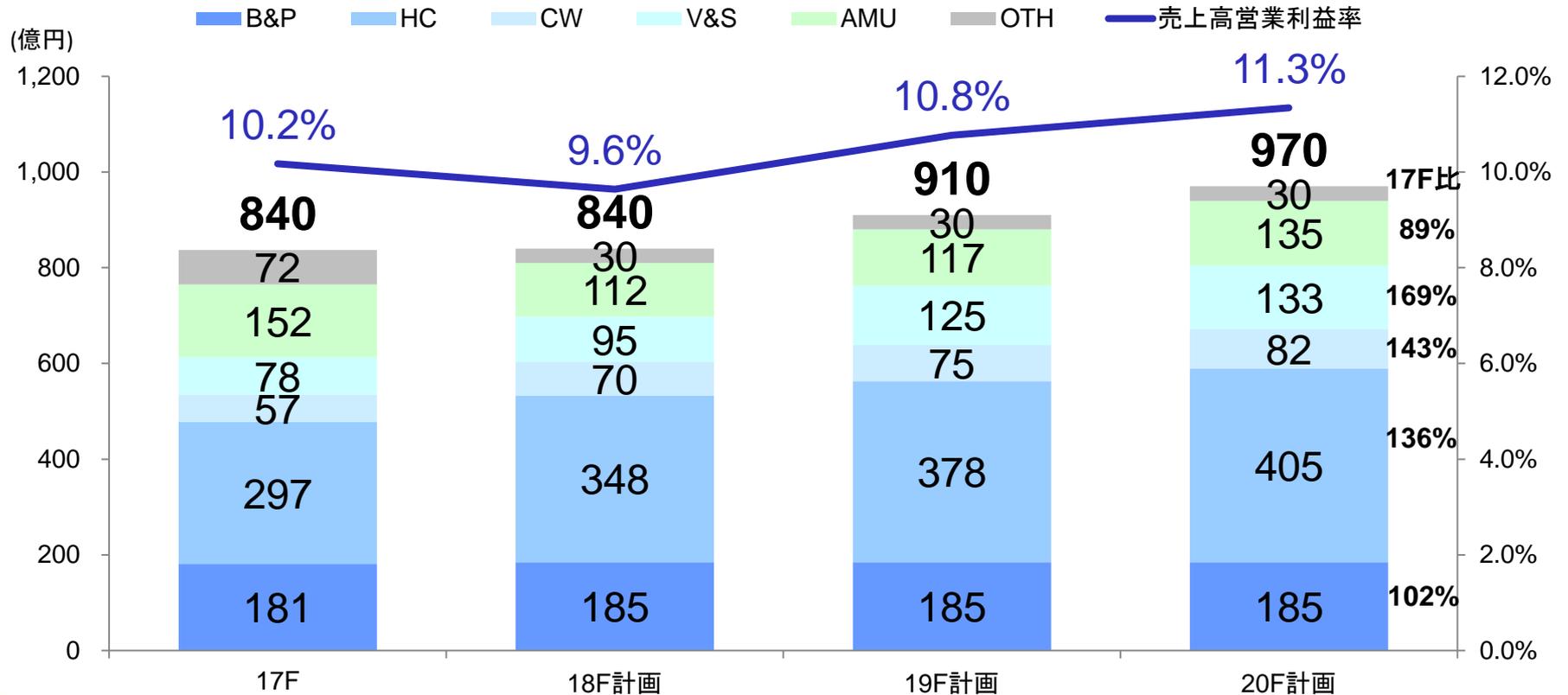
新たな成長エンジン “Imaging Chain Innovation”



中期業績目標

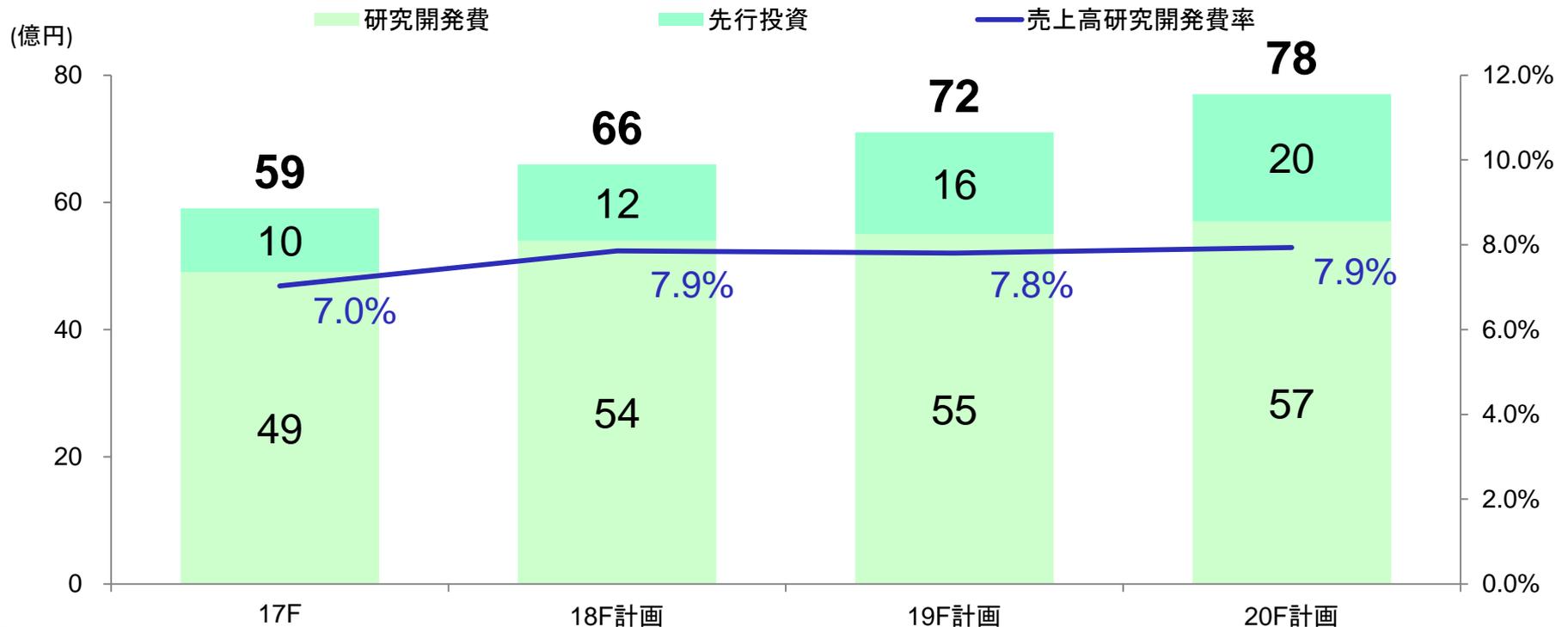
	17F実績	20F計画
売上高	<p>840億円</p>	<p>970億円</p>
営業利益/ 営業利益率	85億円 / 10.2%	110億円 / 11.3%

中期業績目標



研究開発費計画

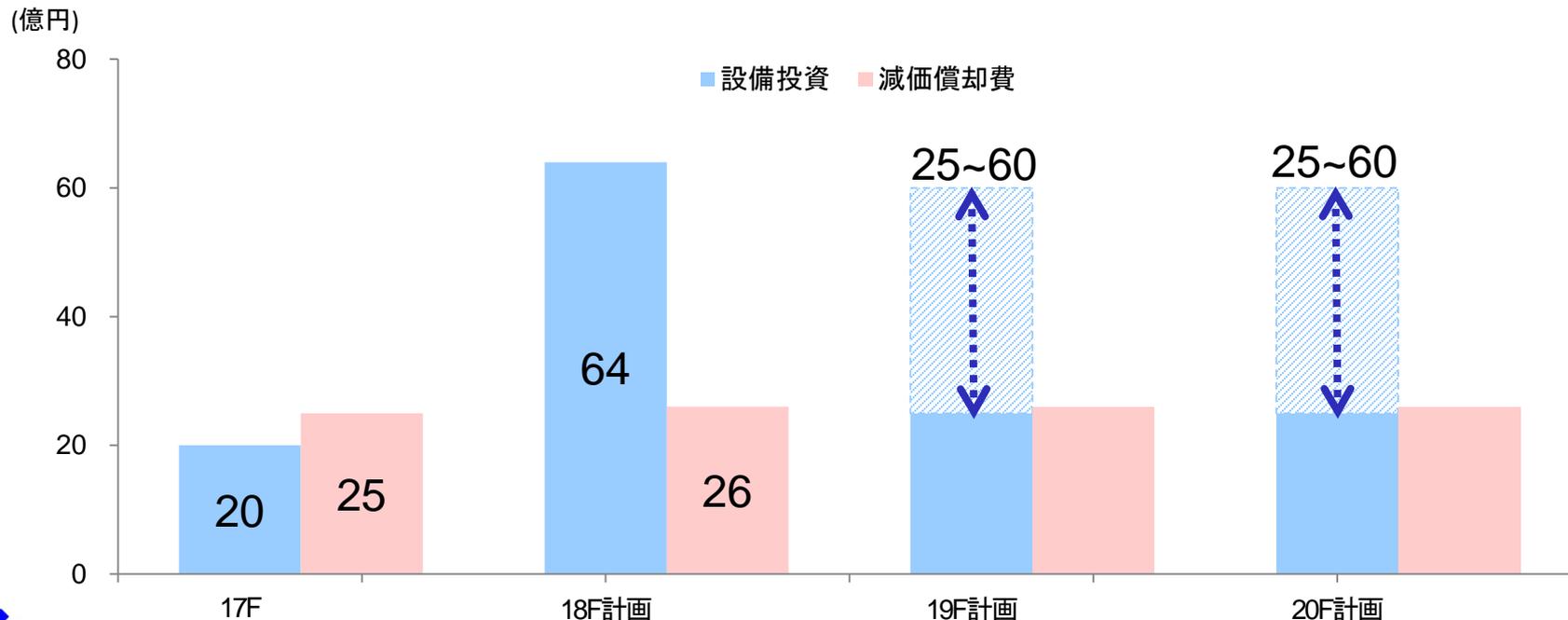
□ “Imaging Chain Innovation” を加速するための投資強化



設備投資計画

□ 18F: 欧州での開発・生産体制強化を目的にドイツ2拠点で
新本社開発工場棟を建設 32億円

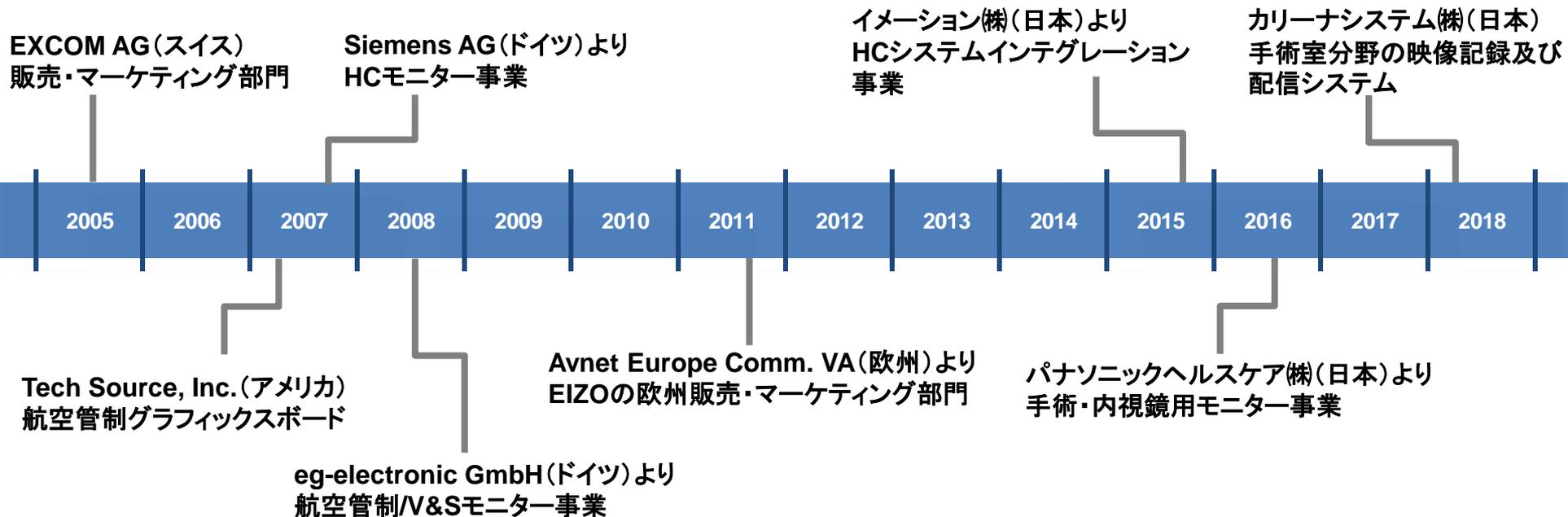
□ 19F以降: 国内での生産物流の整備、研究開発拠点の投資を計画



M&A

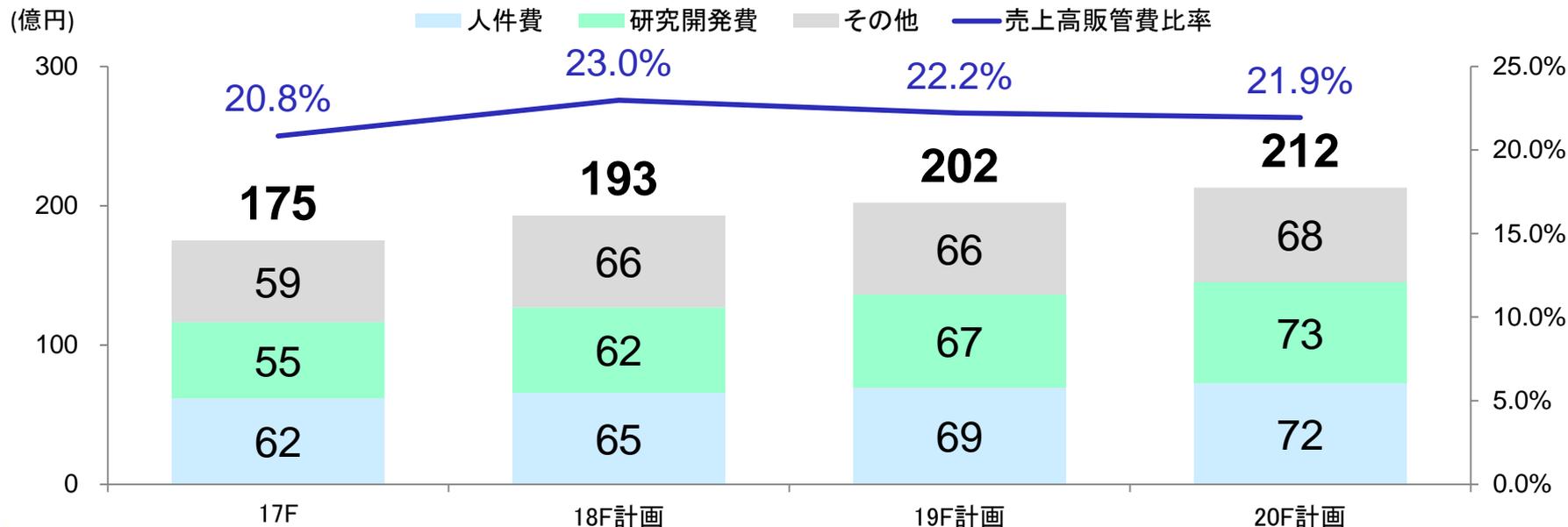
□ ビジネスモデルの進化に向けて

M&A実績



販売費及び一般管理費計画

- AI / RPAも活用した業務プロセス改革で生産性向上を一層進め17F比 +3%におさえる（研究開発、先行投資、新規連結会社を除く）
- 先行投資や販売拡大のための販管費は増加



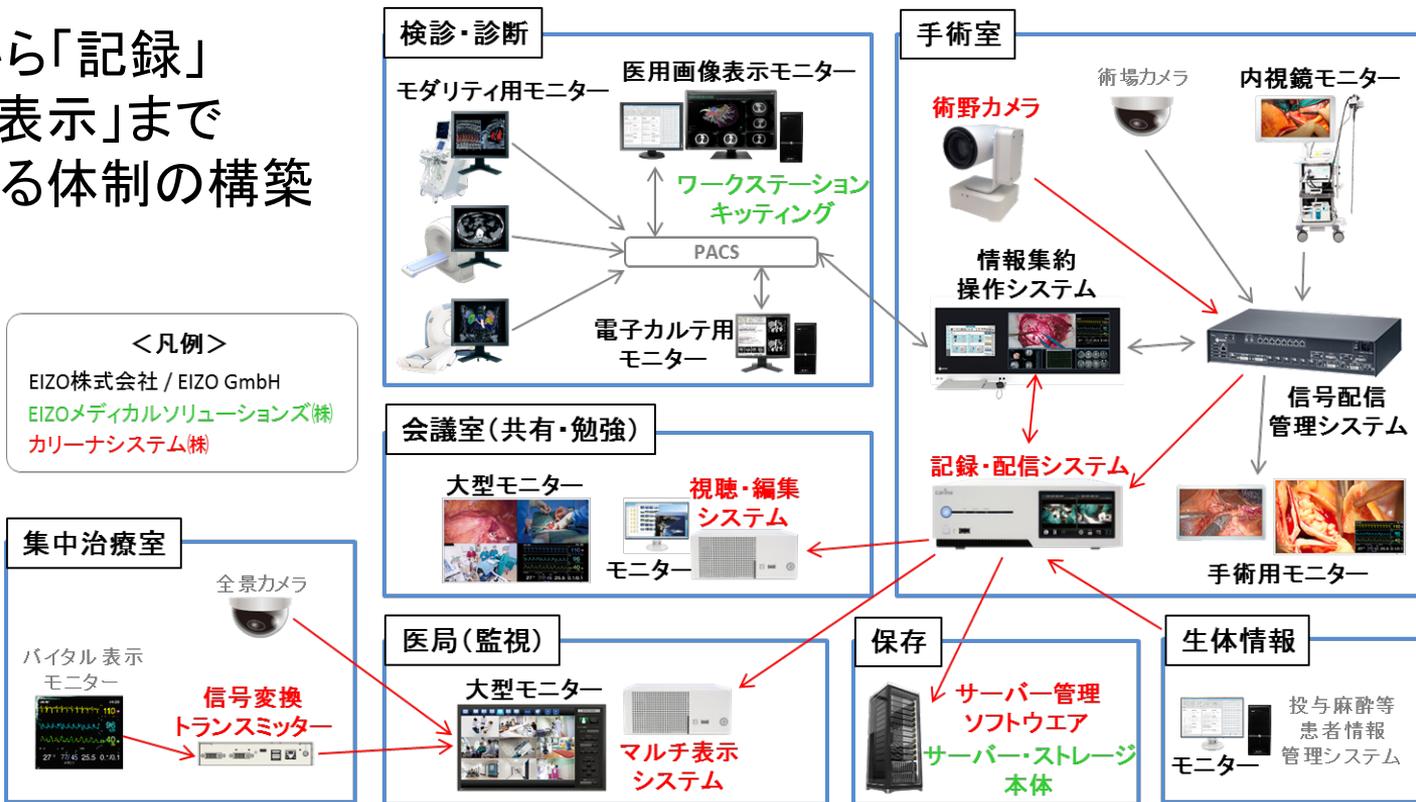
目次

1. 第5次中期経営計画～レビュー
(2015年度～2017年度)
2. 第6次中期経営計画
(2018年度～2020年度)
- 3. 重点市場別事業戦略**
4. 株主還元方針

ヘルスケア市場

「撮影」、「記録」、「配信」、「表示」で事業領域を拡大

- 映像の「撮影」から「記録」、「配信」、そして「表示」まで包括的に提供する体制の構築



ヘルスケア市場

「撮影」、「記録」、「配信」、「表示」で事業領域を拡大

□ 診断分野

- 読影環境と診断ワークフローの進化提案で更なる競争力
- 戦略市場(北米、中国、インド、中東 + 東南アジア)の販売強化

□ 手術室分野

- 内視鏡モニターのビジネス拡大
- カリーナシステム(株)とのシナジーによるソリューションビジネスの展開

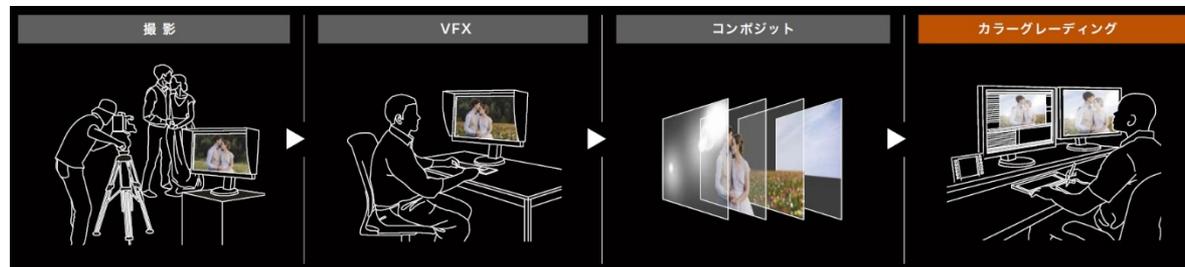


クリエイティブワーク市場

HDR時代を先取りしシェア拡大

- HDR(※)コンテンツ制作ワークフローでの作業効率を大幅に向上させるソリューション
- 撮影時からグレーディングまでのEIZOによる一元管理
- プロのこだわりをもっと身近に

(※)HDR: High Dynamic Range



V&S市場_共通

会社力・技術展開力・供給力・サポート力でステージアップ

- オプティカルボンディング、ARフィルム、タッチパネル等を含めたEIZOの総合力
- 高度な耐環境性能
 - MIL規格対応
- “アジャイル^(※1)”手法による迅速なカスタマイズ対応
- 長期プロジェクトに対応するPLM^(※2)



(※1)アジャイル: アジャイルは、プロジェクト開発手法のひとつ。大きな単位でシステムを区切ることなく、小単位で実装とテストを繰り返して開発を進めることで従来の開発手法に比べて開発期間が短縮されるため、アジャイル(素早い)と呼ばれる。

(※2)PLM: プロダクトライフサイクル マネージメント

V&S市場_航空管制

世界の空の安全を支えるイメージングチェーン

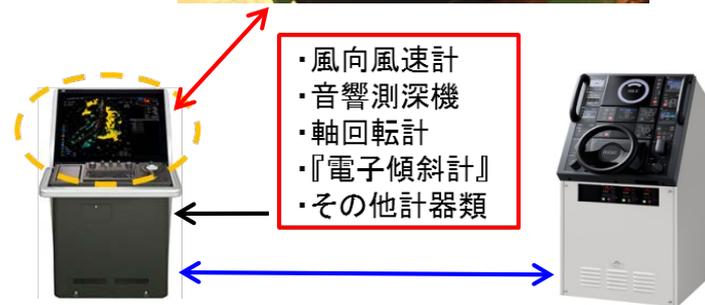
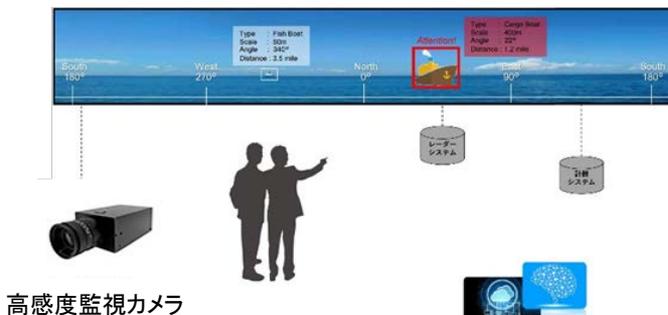
- 必要な表示とコンテンツ管理ソリューションをトータルで提案
- PLM、信頼のサポート力、ソリューション展開力
- 市場シェアNo.1へ



V&S市場_船舶

船内ITイノベーションへのソリューション提案

- ECDIS用モニター、そしてその先に...
 - 大型電子海図表示液晶タッチモニターを世界に先駆けて提案
 - 独自技術を“Embedded”システム化し“EIZOにしかできない”船用監視ソリューションの提案



- ・風向風速計
- ・音響測深機
- ・軸回転計
- ・『電子傾斜計』
- ・その他計器類

V&S市場_セキュリティー / 監視 (1/3)

あらゆる分野のセキュリティー / 監視をターゲットに

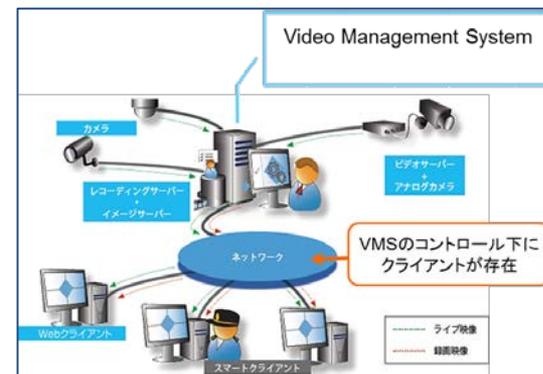
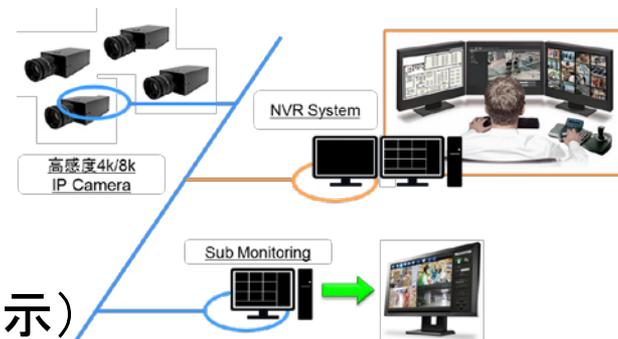
- IPカメラ対応モニターのラインナップ拡充
 - 4K対応、サイズバリエーション
 - Video Management System (VMS) 対応
- EIZOならではの幅広い商品ラインナップとのクロスセル展開



V&S市場_セキュリティー / 監視 (2/3)

あらゆる分野のセキュリティー / 監視をターゲットに

- EIZO独自の**高感度カメラ**によるソリューション提案
- 画像データ伸張・圧縮、配信、分析
 - デコード性能の大幅向上 (FHD多画面同時表示)
 - H.265(※)
 - VMS対応
 - **AI技術の活用**



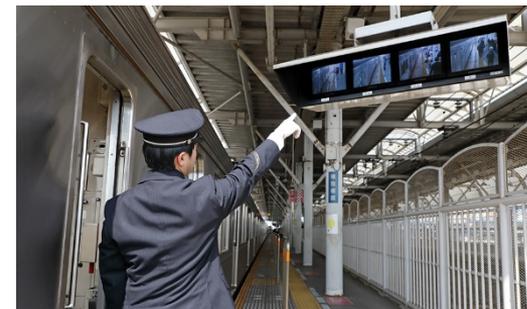
(※)H.265: 新しい動画圧縮規格の一つで先のH.264の約2倍の圧縮率で4K、8K映像で効率的な伝送を可能にする。(MPEG-2との比較では4倍の圧縮率)

V&S市場_セキュリティー / 監視 (3/3)

あらゆる分野のセキュリティー / 監視をターゲットに

□ 様々な設置環境で最適な画像表示

- 高輝度
- 霧除去機能
- ハウジングオプション
- オプティカルボンディング



アミューズメント市場

市場環境の変化を先取りしNo.1を堅持

- 新規則下での娯楽のあり方を追求
- 自社製制作環境の活用で一層の効率化を実現
- パートナー(顧客・仕入先)との連携強化
- ニーズに応じたフレキシブルな生産体制



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

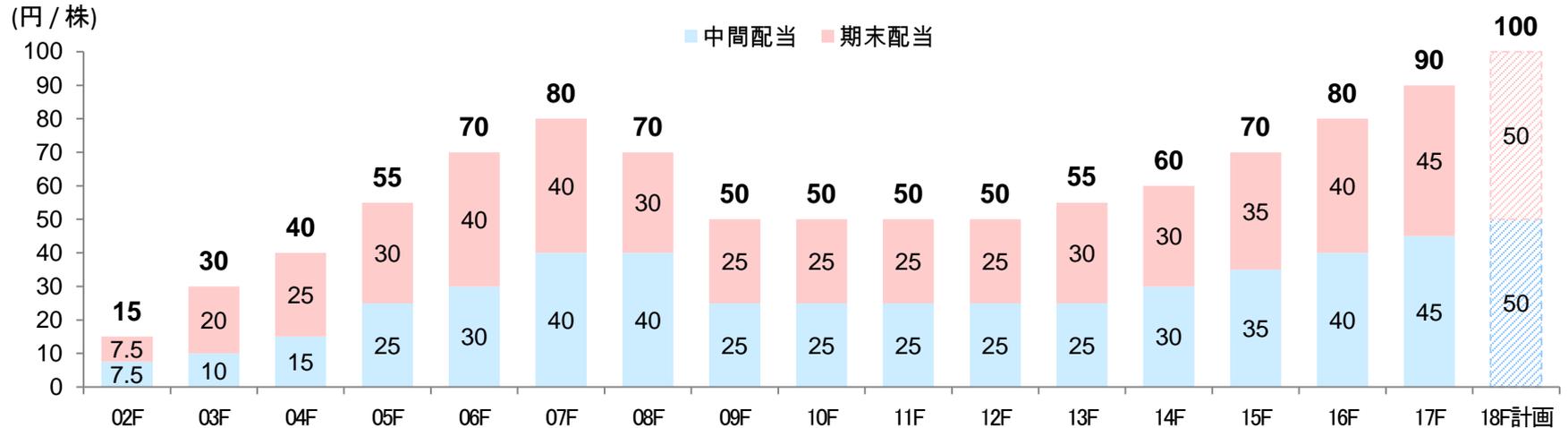
さらに圧倒的存在感を示すEIZOへ

目次

1. 第5次中期経営計画～レビュー
(2015年度～2017年度)
2. 第6次中期経営計画
(2018年度～2020年度)
3. 重点市場別事業戦略
4. 株主還元方針

株主還元方針

- 当社は、会社の成長に応じた安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としており、今後の事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案しながら、配当や自己株式取得等の株主還元を実施してまいります。
- 株主への還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の40%~50%を目標水準とし、それを達成すべく収益基盤の強化に努力してまいります



配当性向	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	229.7%	22.6%	31.5%	67.5%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	33.8%
総還元性向	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	375.2%	24.9%	31.5%	168.0%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	33.8%

・配当性向は連結ベース 18F配当は予想

・自己株買入 08F/996百万円、11F/1,661百万円



<http://www.eizo.co.jp/>